

令和4年度 山形県立長井高等学校 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

<p><b>スクール ミッション</b></p>	<p>創立以来受け継がれてきた「万物我に備はる」の校訓のもと、地域のリーダーを輩出してきた歴史と伝統ある普通科高等学校として、挑戦し続ける高い志と探究心を持ち、高い知性と豊かな情操、健全な心身を兼ね備えた、地域と地球に貢献する有為な人材を育成します。</p>	<p><b>教育 目標</b></p> <p>(1)健全な心身と挑戦し続ける高い志の育成。 (2)高い知性と豊かな情操の育成。 (3)社会の有為な形成者となるための諸能力の育成。</p>	<p><b>教育 方針</b></p> <p>(1)生徒の初志を大切にし、その目標達成を目指す。 (2)自律的・積極的な生活態度の育成と個性の伸長をはかる。 (3)生徒各自の意思を尊重し、きめ細やかな指導を旨とする。 (4)時代に即した教育活動を実践する。</p>
------------------------------	---	---	--

年度目標		自己評価					左から 教員・生徒・保護者・総 合	学校関係者評価		
重点目標	具体的方策	評価項目	年度評価(令和5年2月3日現在)					昨年	実施日:令和5年2月22日	自己評価に対する評価
			教	生	保	総				
<p>1. 自他の存在や生き方を尊重し、自立的・積極的に行動する態度の育成</p>	<p>①様々な教育活動を通し、豊かなことと望ましい人間関係を構築する。 ②自ら考え、判断し、変化や困難にも柔軟かつ的確に対応できる力を育成する。 ③部活動や生徒会活動などの主体的な活動を促進する。 ④家庭や地域と連携し、共通理解を図り、生活習慣や規範意識を確立する。</p>	<p>人間関係形成能力の育成(1) 主体的な判断力・適応力の育成(2) 主体性を育む部活動・生徒会活動の充実(3) 基本的生活習慣と規範意識の確立(4) 組織的な指導(5)</p>	A	A	A	A	A	<p>・コロナ禍における人間力向上のための各種講話や教員の生徒指導力向上のための研修会の実施。 ・生徒の主体性を育む諸活動の推進とリーダーの育成。 ・生徒会執行部を中心とした生徒による自治活動の更なる推進。 ・生徒の生活実態の掌握と効果的な生徒面談や教育相談の実施。</p>	<p>・伝統的に素直で従順な生徒が多いと感じている。しいて言えば受動的で積極性に欠ける生徒とも言える。積極性を持った人間性の育成は人格形成において極めて重要な要素であり、本校の教育でそれを植え付けるならば、自主的学習に重きを置いて取り組ませてはどうか。 ・校舎内で寒暖の差(夏・冬ともに)があるようです。自己対策を考えれば、服装の自由があっても良いのではないかと。 ・生徒の自己評価は高いが、先生方は「もっと出来る」と考えていると判断した。 ・生徒指導、生徒会活動等の諸活動を通して、めざす生徒の姿に近づいている様子がうかがえる。</p>	
<p>2. 「習得」「活用」「探究」による「確かな学力」の育成</p>	<p>①授業力向上に努め、「わかる授業」の徹底と、意欲・関心の喚起に努める。 ②基礎学力の向上と応用力の伸長とともに、それらを活用する力を育成する。 ③探究型学習を推進し、自ら学び主体的に課題を解決していく力を育成する。 ④図書館を有効利用し、読書や幅広い学習活動の促進に努める。</p>	<p>授業改善(1) 教科と年次等分掌間の連携(2) 基礎学力の定着(3) 個に応じた指導と家庭学習の充実(4) 主体的な学び(5) 図書館の活用と読育(6)</p>	B	A	B	B	B	<p>・自律した学習者の育成。 ・生徒の思考力・判断力を高める授業のための職員研修の実施。 ・ICTを利用した授業及び1人1台端末を利用した授業の研究。 ・読書の推進と、活用される図書館としての機能の充実。</p>	<p>・大学入試共通テストの英語の問題でリスニングの配点が高く、それに応じた対策に疑問がある。子供の学習を見ると、ほとんどリーディングの学習に終始している。 ・読書は必要であるが、学校の宿題やテストに追われ時間がない現状である。 ・本校の先生方は進学校らしく日々の授業を一生懸命されて感謝している。 ・親としては「大学受験に向けて」関わってくださる先生の姿しかわかりませんが、配布物等よく考えていただいている。 ・図書館の利用や生徒の読書については、毎年達成度が低い傾向と感じている。今年度は授業で図書館を利用したり、メディアセンターとしての活用提案もあり今後期待している。長井市の新図書館との連携なども考えてみてはと思う。 ・授業改善に対する意識の高さがうかがえる(教科内外の相互研修や4人研修など)。進路先にもその成果が現れている。</p>	
<p>3. 広い視野と高い志を持ち、自己実現を図る態度の育成</p>	<p>①3年間を見通し、計画的・系統的なキャリア教育を推進する。 ②一人ひとりを大切に、個に応じたきめ細やかな指導に努める。 ③新しい大学入試制度を踏まえた教科指導、進路指導の研究を深める。 ④生徒の果敢に挑戦する意欲と学び続ける態度の育成に努める。</p>	<p>キャリア教育の推進と分掌間の連携強化(1) 個に応じた進路指導体制の確立(2) 積極的な進路情報の提供(3) 自己実現のための環境作り(4)</p>	B	A	B	B	B	<p>・各コースの特性を活かした進路指導のあり方の検討。 ・計画的な個別面談の充実と家庭への進路情報の提供。 ・総合型・学校推薦型の定員増加に対応した進路指導の実践。 ・大学見学会や外部講師による進路講演会の効果的な活用。</p>	<p>・広い視野と高い志を持つことは大切であるが、「自己実現」を図るの時期はもっと先のことではないか。「自己実現」とは、自分の好きなことを社会を通して成し遂げようと思うので、高校時代にその時間はないと思う。 ・地域社会と繋がる態度を育てつつ、今の日本や世界の状況を理解し、自分は何がしたいのか先生や友だちと話ができるような環境をつくっていただきたい。 ・全般的に昨年度より自己評価が向上しているように見える。学校側は様々な方策を取られているが、生徒自身があまり積極的でない印象を受ける。薬剤師も含む様々な職業の紹介(出前講座など)をまとめて実施するなどの機会が必要かと思う。 ・昨年の反省を活かし、進路指導の充実とその環境整備が進められたことは素晴らしいことである。</p>	
<p>4. 開かれた学校づくりと地域社会とつながる態度の育成</p>	<p>①ボランティア活動など、地域社会に積極的に参画する活動を促進する。 ②地域の伝統・文化や課題などについて考え、理解を深める学習の充実を努める。 ③ホームページを活用し、本校の取組や教育活動を積極的に発信する。 ④地域の期待や学校評価をもとに、教育活動の継続的な改善を図る。</p>	<p>ボランティア・社会参加活動の推進(1) 地域学習と地域貢献の推進(2) 通信や会報の活用(3) 学校評価のフィードバック(4)</p>	C	D	D	D	D	<p>・コロナ禍におけるボランティア活動、地域貢献活動の推進。 ・ホームページ、学校連絡メールの活用方法の研究と本校諸活動の積極的な広報。</p>	<p>・さくら連絡網で、学校への連絡方法として欠席等の他に「相談」の項目を追加することはできないか。保護者の疑問や確認事項を学校に伺いやすくなるのではないかと。 ・学校評価アンケートを実施し、その評価をもとに評議委員会を開催するなど、改善に向けて毎年検討していただいている自体を有難く思う。 ・学年だよりが「紙」で子どもに渡されるとき、共通テスト前など大事なことが書かれている時は親のもとにも来ますが、他は目にしないことが多い。 ・③について保護者の評価が高く概ね良かったと思う。 ・PDCA サイクルの「C」「A」の充実が素晴らしい。中学2年時での長井高校の授業参観は今までの疑問が解決され、一層興味関心が高くなった。</p>	

達成度 **A(達成)**: アンケート結果の1+2評価が90%以上 **B(概ね達成)**: アンケート結果の1+2評価が70~89% **C(やや不十分)**: アンケート結果の1+2評価が50~69% **D(不十分)**: アンケート結果の1+2評価が50%未満

※自己評価は、今年度の重点目標の具体的方策についての達成度について、教員・生徒・保護者のアンケート調査を実施し、「1:十分である、2:まあまあ、3:やや足りない、4:足りない」の4段階で評価した結果です。